

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

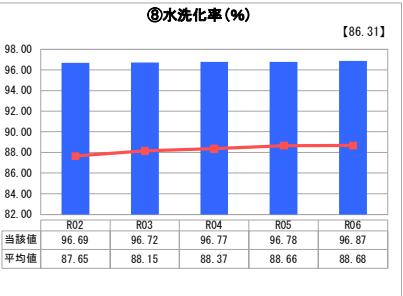
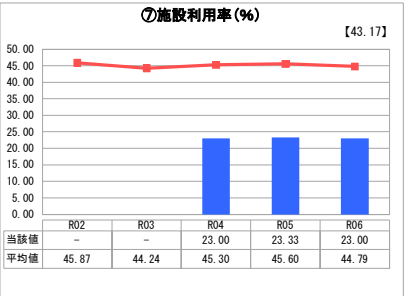
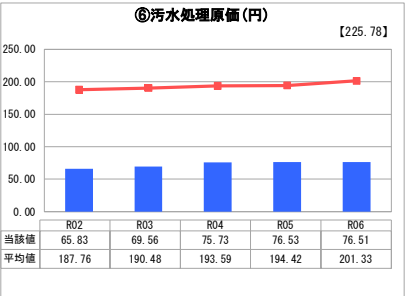
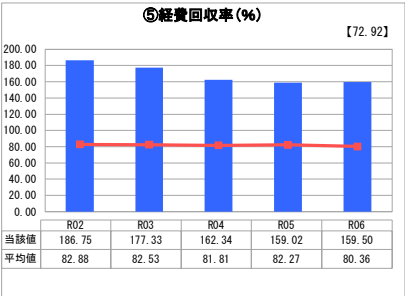
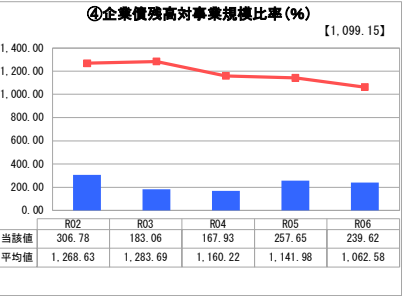
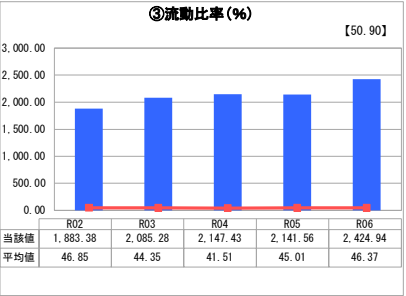
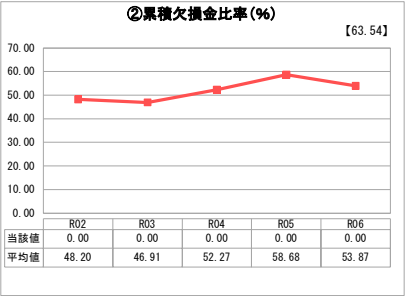
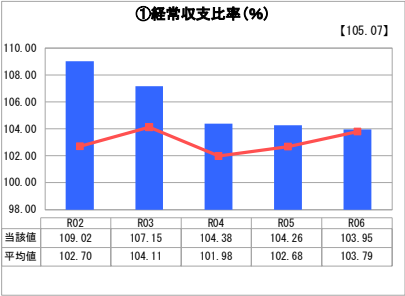
群馬県 高崎市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>1</sup> 当たり家庭料金(円)
-	86.90	3.25	66.15	2,173

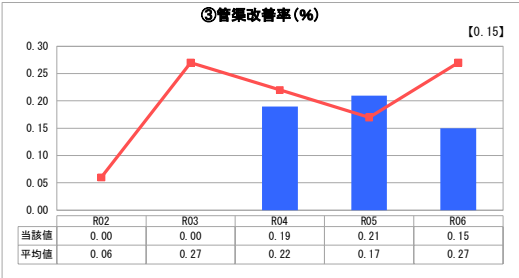
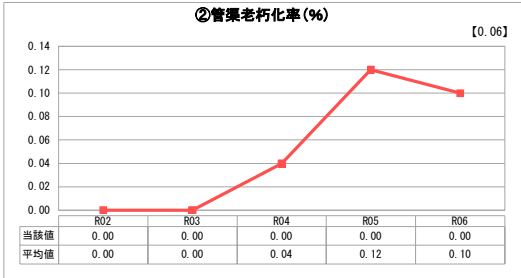
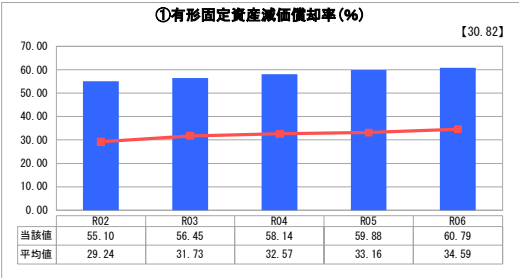
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
365,972	459.16	797.05
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
11,851	4.85	2,443.51

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率及び経費回収率は毎年100%を超えており、維持管理費用の削減に取り組んでいることなどから、経営改善の成果が表れているものと考えられる。

流動比率は毎年100%を超えており、支払能力は高いと言える。

企業債務高対事業規模比率及び水洗化率は、管渠整備がほぼ終了していることから、適切な数値で推移していると考えている。

汚水処理原価は類似団体の平均を大きく下回り、効率的な汚水処理が実施されていると考えている。

施設利用率は、類似団体の平均を下回っているが、観光地への限定的な範囲を対象としていることもあり、今後の推移を注視していく必要があると考えている。

### 2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を超えた管渠はないが、有形固定資産減価償却率は類似団体と比べて高い数値となっており、施設の老朽化が進んでいるものと考えられる。

今後も、施設の更新を計画的に行っていく必要がある。

## 全体総括

近年、人口の減少や節水型機器の普及などにより、水需要の大きな伸びを期待することは難しい状況にある。

また、管渠や処理施設の老朽化及び物価の高騰等により、今後、修繕や更新に係る費用が増大することが考えられる。

サービスの維持のため、より一層の経費削減に努めるとともに、事業の統合の検討等、経営の効率化を高めていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。